

本調査は、技術センターが府内の製造業者の保有技術を中心に、経営動向、直面する課題等の現状を把握し、今後の技術支援施策等の企画、実施に役立てることを目的に平成25年度より実施しているものです。今回は加工性の高さや物理・化学的特長などから、広く普及し、日々の暮らしから先端産業に至るまでさまざまな分野で利用されているプラスチックを用いた製品を製造するプラスチック製品製造業に焦点を当てました。ここではその結果の一部を紹介します。

1 調査の概要

製造業全体に占めるプラスチック製品製造業の位置づけを全国、近畿、京都で比較するため、平成29年の工業統計調査表(産業編・平成28年実績)をもとに分析しました。また、京都府内のプラスチック製品製造業を営む事業所に対し、調査票によるアンケート調査を実施し、62社から回答を得ました。更に、このうち承諾が得られた事業所に対してヒアリング調査も行いました。

2 工業統計調査の分析

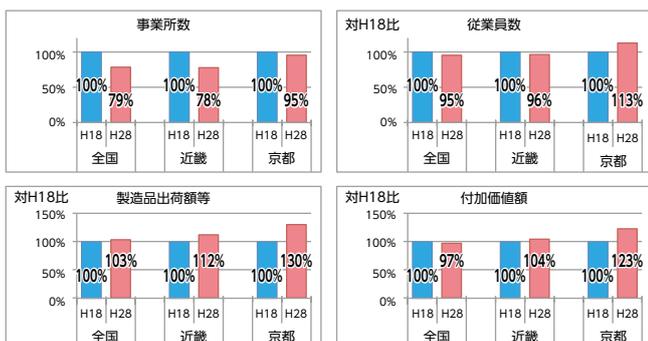
初めに全国、近畿と比較したところ、京都では、製造業全体におけるプラスチック製品製造業が占める割合は、相対的に小さいことがうかがえました(図表1)。

次に10年前と比較した場合、全国的にはプラスチック製品製造業界は、事業所数が減少し、従業員数や製造品出荷額、付加価値額についてはおよそ同程度となっています。一方、京都では、事業所数は比較的維持されており、従業員数、製造品出荷額や付加価値額が伸びてきているところです。

このことから、京都では、製造業全体に占める割合が小さいながらも、プラスチック製品製造業では活発な生産活動が行われている状況がうかがえました(図表2)。

地区区分	産業名称	事業所数	従業員数	製造品出荷額等	付加価値額
全国	製造業計	191,339ヶ所	7,571,369人	3,020,356億円	972,324億円
	プラスチック製品製造業	12,349ヶ所	425,035人	117,645億円	42,598億円
	製造業計に対する比率	6.5%	5.6%	3.9%	4.4%
近畿	製造業計	36,859ヶ所	1,279,658人	501,472億円	170,666億円
	プラスチック製品製造業	2,671ヶ所	79,925人	23,011億円	8,723億円
	製造業計に対する比率	7.2%	6.2%	4.6%	5.1%
京都	製造業計	4,398ヶ所	143,999人	54,486億円	20,167億円
	プラスチック製品製造業	233ヶ所	6,593人	1,603億円	621億円
	製造業計に対する比率	5.3%	4.6%	2.9%	3.1%

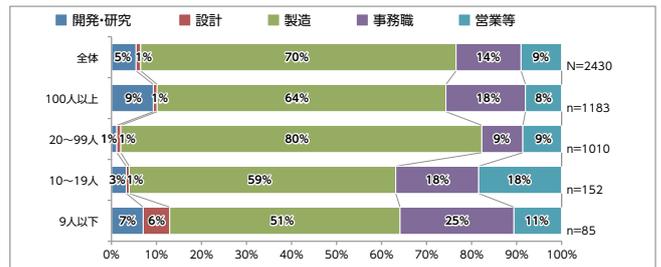
図表1 プラスチック製品製造業の規模(H28)



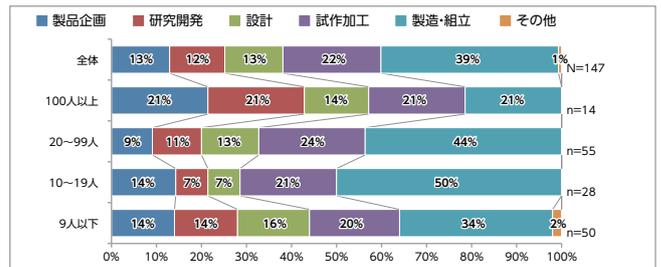
図表2 プラスチック製品製造業の規模の推移

3 アンケート調査の分析

次に示すのは、従業員規模別に「従業員の職種割合(図表3)」、「事業所の業務割合(図表4)」をグラフ化したものです。



図表3 従業員規模別 従業員の職種割合



図表4 従業員規模別 事業所の業務割合

アンケートの結果、プラスチック製品製造業における大半の従業員が製造に従事するという回答でした。また、事業所の業務割合については、「製品・企画」、「研究開発」及び「設計」という回答をある程度の割合で認めました。これら研究開発等の業務について、ヒアリングの結果から、受注した製品を製造する過程や方法の研究開発、金型の設計等といった業務が行われており、生産を主軸にしながら、その周辺の技術的課題を研究、開発するという状況がうかがえました。

4 ヒアリング調査の結果

ヒアリング結果の一例として、どの従業員規模の事業所においても、従業員の採用に苦慮し、パートタイマーやアルバイトからの社員募集や中途採用、地縁による直接採用などで人材の確保に取り組んでいることが聞かれました。ただし、パートタイマー及びアルバイト自体の採用が難しく、作業現場の環境改善や交通手段の確保、休暇の取りやすさの向上など就労環境の改善に努力しているとの声もありました。

また、求人はハローワークや折込みチラシに代わって、タウン誌や求人サイトなどが有効な手段として認知されている状況であることがうかがえました。